

検査成績評定項目別評定表(建築)

評定項目	細目	評価対象項目
施工	施工管理	☐ 現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。 ☐ 施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。 ☐ 施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。 ☐ 実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら、工程を管理している。 ☐ 施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。 ☐ 産業廃棄物処理の書類が整理されている。 ☐ 契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。 ☐ 契約内容の変更について監督員と協議している。 ☐ 工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。 ☐ 工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。 ☐ 官公庁届出など必要関係書類が整理されている。 ☐ 施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ☐ () ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点
管	品質管理	☐ 杭材料の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。 ☐ 鉄筋の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。 ☐ 鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。 ☐ コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されている。 ☐ 鉄骨の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。 ☐ 鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。 ☐ 建具の性能等級が設計図書を満足し、これを示す資料が整理されている。 ☐ 塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されている。 ☐ 仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を証明する資料が整理されている。 ☐ 材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。 ☐ 品質管理に関する工事記録写真が整理されている。 ☐ 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ☐ () ☐ ()
		評定点 / × 100 = 点

備考 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
(評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。